

Elysion フューエルインジェクター インストールマニュアル

RR-1, 2 用 (L4 2.4)

「フューエルインジェクター」をご用命頂きまして、ありがとうございます。
シロートの拙い工作物ですが、その辺りは笑って許してくださいませ。
楽しいカーDIYの一つとして、お楽しみ頂けると幸いです。

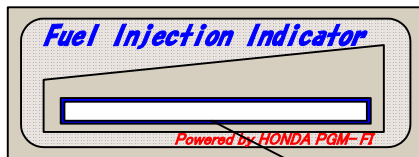
2004/12 M相良

取り付け時の注意

1. 電装系のDIYは誤配線があると、最悪出火等の可能性が有ります。
説明を良く読んで、トラブルの無いようにお気をつけ下さい。
 2. エアバックが標準装備されている為
センサーが活着ている間に、不要なショックを与えると、エアバックが作動したり
非常に危険を伴います。

※必ず BATTのマイナス端子を外し。3分以上待ってから作業して下さい。
 3. ご自分での取り付けに自信がない場合、有る程度のスキルをお持ちの方と
一緒の作業をお勧めします。
 4. 個人的にお分けする物です。製品保証等、一般の製品に有する保証関係は、
いっさいありません。その分、お安いと言うことでご理解下さい。

※誤接続以外の問題で、本体の初期動作不良が認められた場合のみ
交換をいたしますので、ご連絡下さい。
 5. ディーラー、カー用品店等への取り付け依頼は、おそらく断られると思います。(爆)
- ◎上記を怠ったため、発生した 問題・事故 等につきましては、作業される方の
責任の範囲内とさせていただきます。
その点の保証等はいっさいいたしかねます。ご了承下さい。



「**フューエルインジケータ部**」
緑4個、黄3個、赤1個 のLEDで、0.5秒間隔の燃料噴射量
を表示します。
フューエルカットが働いた時には全消灯します。
噴射量が最小・アイドリング時には 緑1個
噴射量が最大時には 全点灯します

内容の確認

1. ユニット本体。
黒(または白)のプラケースに基板が収納されています。
赤・黒・白 の3本の線が出ています。
中間に中継コネクタが付いています。
赤のコードにヒューズが付いています。 1Aです。
2. インジケータ部
黒のプラケースに、LEDが組み込まれています。
※ 1-2は シールド線で接続されています。
3. ワンタッチカプラ 3個

別途必要な物

1. 電源取り出しケーブル 1本
電源取り出しを、ヒューズBOXから行う場合
電源取り出しKITが必要です。
※用品店等で、ヒューズBOX電源取り出しケーブルを購入します。
(10A用)
ヒューズBOX内 No.19(IGN)から取り出します。
※他にIGN+12Vを取り出す箇所をお持ちの場合、そちらに
準じた物を使用して下さい。
※シフトインジ取り付けされている方は、黒・赤 についてはシフトインジの配線へ直結出来ます。
ワンタッチコネクタで、接続してください。
白はECUへ接続の必要が有ります。

必要な工具

1. プラスドライバ
・フロントロアパネルを外すために使用
2. プライヤー
ワンタッチコネクタの取り付けに使用
3. 10mmソケットレンチ等
アースを取り付けるために使用

取り付け手順

1. インジケータ部の取り付け

- (1) センターロアカバーを一部外し
インジケータのコードをカバー内に通します。
- (2) インジケータを好みの位置に張り付けます。
- (3) ロアカバーを元に戻します

2. ECUとメインユニットの接続

- (1) センターコンソール下部パネル(左右)を外します
- (2) メインユニットの信号線(1本)を ECUのカプラにワンタッチコネクタを使用して、接続します。

3. 電源の取得

- (1) IGN+12Vを接続します
- (2) ボディーアースを接続します
※シフトインジを使用されている方は、黒・赤 共にシフトインジの黒・赤へ接続します。

1. インジケータ表示部の取り付け



インパネのロアパネルカバーを外します。

※ めくら蓋を開け、ビスを1本外す



パネルのサイドを引っ張り、浮かせます。



ハンドル下の隙間にコントローラを押し込み、
表示部のコードのみハンドル下を通します。



表示部のコードをハンドル横に通します。



表示部は、好みの位置に両面テープ等で貼り付けて下さい。



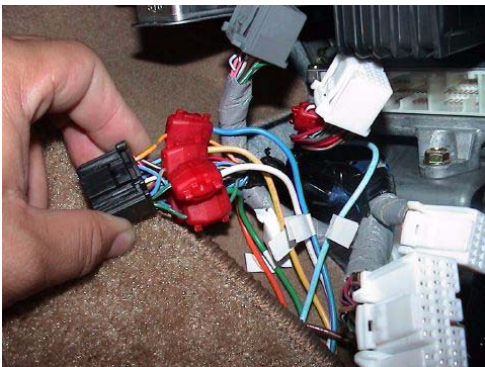
センターコンソール下部右カバーを外します。



センターコンソール下部 左パネルを外し、ECUを確認します。



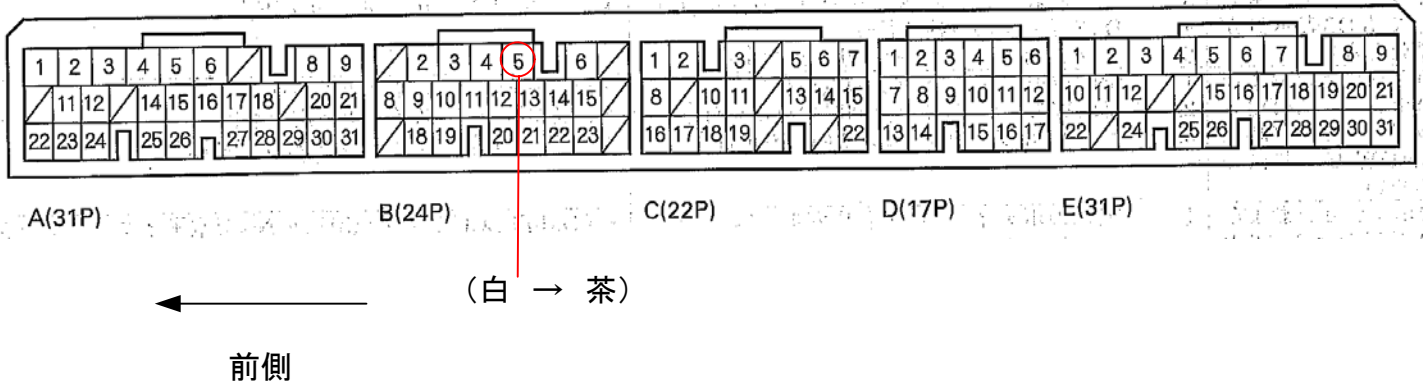
手前側(ナビ本体側)のコプラから順に、全てのコプラを引き抜きます。
※コプラ上部のツメを押し込みながら引き抜きますが、かなり硬いため、少しずつひねりつつ引き抜いて下さい。



指定コプラの配線に、指定線色の線を割り込ませます。

※次ページの接続図を参照

コネクタのコード側から見た図



(1) Bカプラに接続

- ・ユニットの白 を B-5 (ハーネス色 茶)

ユニットの配線を、ECUのカプラのハーネスに接続します。

このとき、ワンタッチカプラを使用します。

ハーネスは、黒いテープ等で巻いてあるので、少し剥がした方が、取り付けしやすいです。

ここの接触不良、配線間違いがあると、正しく表示が出ません。(要注意)

――重要な注意――

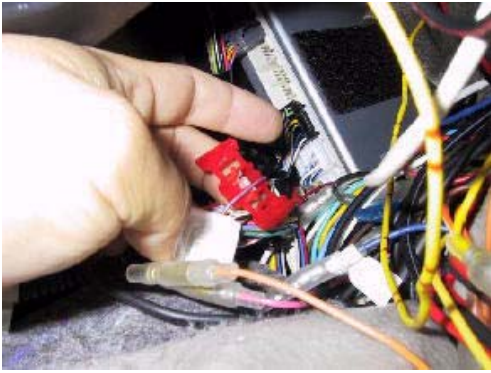
保護テープを剥がす時、カプラで割り込ませる時、十分注意してください。

いい加減な作業で、ECUのハーネスを切断したり、破損したりすると、最悪の状況になります。

この点がきちんと出来ないおそれが有る場合、取り付け自体をあきらめてください。

※このトラブルを含め、問題が発生しても、責任は取れません。

この点だけは、ご了承下さい。



ワンタッチカプラの使用例



ワンタッチカプラの使用法

・ワンタッチカプラは、配線の割り込みに使用します。

1. 溝が左右に切つてある方に、元の配線をかませます
2. プライヤーで、片側をかしめます。
3. 割り込ませる配線をもう一方にかませます。
4. しっかり、かしめて 完了。

※ 黄色の配線が、ECUのハーネス
青の配線が ユニットの配線
に相当します。

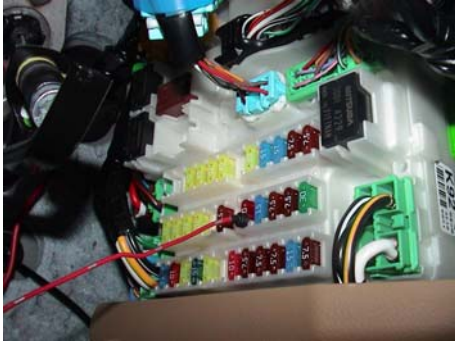
※ 非常に手を入れずらい、狭いところでの作業になりますが
コードを斜めに挟んでしまったり、プライヤーで挟んで
しまったりなど、十分 注意しましょう。

※ ここで、元のハーネスを切断等してしまうと
走行不能になるおそれもあります。
十分、注意してください。



電源は、ヒューズBOXから、取り出しケーブルを使用するのが一番簡単です。

※ヒューズ取り出しKITはホームセンターや用品店で入手できます。
10A用を使用します。
ヒューズ部が大きい物と小さい物が有ります
小さい方ですので間違えないようにして下さい



ヒューズカバーを外し、No.19へ差し込みます。
No.19は、予備用の為、元々開いています。
ユニットからの赤線を接続します。



ハンドルポストカバーを剥がすとアースポイントが有りますので、ユニットからの黒線を取り付けます。

黒線、赤線をカーペット裏に通します。

※線は露出させると、アクセルやブレーキに絡んで大変危険です、必ずカーペット下へ通して下さい。



ユニットを、パネル等に干渉しない位置を見つけて格納します。

この位置か、もしくは さらに下の奥に入れることが出来そうです。

※シフトインジをご利用の方は、2つのユニットを納めるように位置を工夫してください。



取り付けと逆の順序でパネルを戻していきます。

これで、取り付けは完了！
あとは、動作確認だけです。

「動作チェック」

1. 全く表示しない 一切点灯しない

- ・IGNへの接続は正しいですか
- ・GNDの接続は正しいですか
※特に、GNDの接続不良は原因になりやすいです。

- ・ユニットの赤線に黒いヒューズBOXが付いています
ねじると、1Aのヒューズが入っています。
切れている場合、入れ替えてください。
再度切れてしまう場合、配線の確認をしてください

2. アイドリングで1個の時、2個の時、2個目が点滅してる特

- ・気温が低い場合、始動直後はアイドルUP等により、多少ガソリンが多めに出ます
アイドル回転が 1000回転以下に落ち着いてくると、1個のみ点灯に成ってきます。

3. 走行時に全く点灯しないことが有る

- ・その場合はガソリンが出ていません
- ・エンジンが暖まっている状況では、エンジnbrake状態の時に、燃料供給が止まります
速度が下がって、回転も下がると 今度はエンスト防止のために、アイドル状態に戻ります。
減速時に積極的にシフトダウンすることで、意識的にフューエルカットさせることも出来ます。

4. 端のLED点滅する

- ・燃料の使用量が直近の表示値と近い所でふらついている場合、点滅しているように見えることが有ります。
全く正常です。